

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">新編 新しい数学</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○段階的に学習内容が定着するように構成され、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう工夫されている。また、身近な事象を題材にし、数学的な思考力・表現力などの育成を図るように構成されている。</p> <p>○各章の導入課題では操作活動を取り入れ、その活動が本文の指導へとつながり、数学的活動のよさや楽しさを実感できるように設定されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「例」と「問」の間に「たしかめ」が設けられている。生徒がよくつまずくものを「まちがい例」として紹介し、同様の誤答をさせない工夫がある。「ちょっと確認」や巻末「数学を広げる」では既習事項が、節末「基本の問題」では本文参照ページや例などが示され振り返りをするように設定されている。巻末「補充の問題」は、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「学び合い」のページでは、すべて右ページ始まりとし、多様な考えを引き出したり、自力解決の際に考えの例が見えないように構成されている。また多様に考えたり、友達の考えを読みとったりする場面では「生徒キャラクター」により考える糸口や手立てがあり、言語能力の育成も図れるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「数学的活動Q」が、全ての節の導入に設定され、新たな学習へ意欲を高める課題が用意されている。この「Q」が、次の学習にもつながるように構成されている。「数学のまど」や巻末「社会とつながる」「教科とつながる」では、興味・関心を高め、他教科へ数学の活動を広げる内容に構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○「数学のまど」や巻末「活用問題」では、数学を活用して調べたり判断したりする内容が取り上げられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関して、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○コマ送りの挿絵が入れられている。また、日常生活の中の具体的な場面、状況に応じた挿絵や写真が問題解決の手だてになるように用いられている。巻末付録には、切り取って操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料等については、項目やグラフが見やすい淡色で色付けされている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○各単元の始めに「Q」があり、「考えてみよう」「調べてみよう」など、活動のねらいが示され、黄色の枠で囲まれている。まとめは緑の枠で囲まれている。解答がノート形式で示され、教科書とノートが一体化されている。</p> <p>○新しい用語や記号はゴシック太字で示され必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻頭「学習の進め方」では、見通しをもって学習を進められるように教科書の使い方など、「数学マイノート」ではノートの記述例が示されている。各節に、基礎・基本が身に付くように「例」「たしかめ」「問」が配列されている。</p> <p>○数学トピックスとして「数学のまど」、数学を活用する観点から「社会とのつながり」などが示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">新版 数学の世界</h1> <p style="text-align: right;">4 大日本</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○既習事項との関連を踏まえて導入課題が扱われている。また、側注を利用することで既習事項を振り返らせるとともに、繰り返し練習する問題を設けて基礎的・基本的な知識や技能を習得するように構成されている。</p> <p>○身近な事象を題材として取り上げられ、数学を活用する場面を設けるなど、数学的な思考力や表現力などの育成を図れるように構成されている。</p>
<p>特色</p> <p>内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる></p> <p>○基本的な内容について教科書に書き込みし、側注「思い出そう」を利用することで学びを振り返るように構成されている。節末「練習」では本文参照ページが示され、振り返りをするように設定されている。また、巻末「まとめの問題」は、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○巻頭「ノートづくり方」では、ノート作りを通して数学的な思考力・表現力を高めるように、ノート指導のポイントが示されている。「研究をしよう」や「レポートを書こう」のページを掲載し、研究の仕方やレポートの見本、書く活動が示されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭「教科書の使い方」「数学の世界へようこそ」など、主体的な学習を促すページが設定されている。活用問題「挑戦しよう」や発展的な学習「もっと数学！」など、主体的に学習に取り組めるとともに、学年を超えて幅広い知識を習得できるように構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○各章「利用の節」や「挑戦しよう」では、学習内容を活用する場面が設けられている。コラム「社会にリンク」では、数学を学ぶことのよさを実感できるように構成されている。巻末「Mathful」では、数学が私たちの生活に生かされていることや数学の世界を知ることができるように構成されている。</p>
<p>資料</p>	<p>○学習内容と日常生活との関連が図られるような挿絵や写真が用いられている。また、ポイント場面では、キャラクターの挿絵を使用して強調されている。各章のはじめに写真を配置し、学習意欲を高めるように構成されている。</p> <p>○統計資料などは項目が色分けされており、複数の場合には相互に比較できるように1ページ内に配置されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○見開き2ページに小節がまとめられており、公式や定理などのまとめはオレンジ色の枠で囲まれている。解答例は板書形式でまとめられている。</p> <p>○各単元の始めに「？」「▷」があり、学習のねらいが示されている。新しい用語や記号はゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総括</p>	<p>○日常生活に関連した題材が取り入れられている。また、1単位時間分の学習内容が見開き2ページで設定され、数学的活動が促されるように示されている。章末には、数学を学ぶことのよさを味わえるように「社会にリンク」が、巻末には数学を深めることができるように「Mathful」が示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>

項目		書名	11 学 図
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○基礎的・基本的な問題が用意され、知識及び技能の定着が図られるように構成されている。身近な事象が題材として取り上げられ、根拠を説明する場面を設定するなど、数学的な思考力・表現力を高めるように構成されている。</p> <p>○観察、操作や実験などの数学的活動が、主体的な学習への展開につながり、数学的活動のよさや楽しさが実感できるように設定されている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各領域の学習に入る前に「ふりかえり」が配置され、学習内容に関連する既習事項が取り上げられている。節末「確かめよう」では本文参照ページや例など、振り返りするように設定されている。章末「章のまとめの問題」、巻末「復習」は反復学習をして利用するように構成されている。数と式の領域では「計算力を高めよう」が設定され、計算技能の習熟が図れるように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○吹き出しを活用することにより、考える糸口や手立ての発見につなげている。また、話し合いの仕方など言語活動を意識できるように構成されている。章末「深めよう」や巻末「課題学習・自由研究」では、習得した知識や技能、考え方を活用し、学習したことをさらに深め広げられるよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○新しい学習への興味・関心を促すため、各章の導入では、身近な題材が扱われている。節末には、今後の学習につなげるための「投げかけ」と参照ページが明示され、学習の前後のつながりを明確にして、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○章末「まとめの問題」や「深めよう」では、日常的な課題や他教科と関連させた課題が設定されている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>	
	資料	<p>○学習内容との関連や、問題解決場面での手立てを気付かせる際に、挿絵や写真、イラストが効果的に活用されている。巻末付録には、切り取って立体や模型が作成でき、操作できるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、白黒で掲載されており、復習の場合には相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○巻頭「目次」や各領域「ふりかえり」では、既習事項との関連が示されている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」では基礎・基本の定着を図り、「まとめの問題」では、見方や考え方を活用する問題が配置されている。</p> <p>○日常生活と数学との関連を深めるために「深めよう」や「クローズアップ」が掲載され、主体的な学習が展開されるよう構成されている。</p>	
総括		<p>○巻頭「目次」や各領域「ふりかえり」では、既習事項との関連が示されている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」では基礎・基本の定着を図り、「まとめの問題」では、数学的な見方や考え方を活用する問題が配置されている。</p> <p>○日常生活と数学との関連を深めるために「深めよう」や「クローズアップ」が掲載され、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

項目		書名	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得するために、章の始めに既習事項を確認する問題や章末にその章をまとめるページが設けられている。また、身近な事象を題材にし、数学的な思考力・表現力を育成するように構成されている。</p> <p>○観察、操作や実験などの活動が取り上げられ、数学的な見方や考え方のよさを気付かせるように構成されている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○各章の入口にはその章に関連する既習内容を確認する問題を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容をまとめるページが設けられている。また、本文中では、既習事項が定着していない内容について、「もどって確認」で取り上げ振り返りをするように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各学年の巻末に「数学で大切にしたい考え方」が配置され、習得した知識や技能、考え方などを活用し、学習したことをさらに深め、広げられるように構成されている。また、「伝えよう」や巻頭「ノート工夫」では、自分の考えを説明したり、ノートづくりを通して、数学的な思考力・表現力を高めたりするように構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○新しい学習への興味・関心を促すため、各章の導入では、身近な題材が扱われている。また、「チャレンジコーナー」や「数学ミニ辞典」、「数学メモ」などで、興味・関心を促すための課題や数学に関連する歴史などの題材を扱うことにより、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○各章の「みんなで数学」や「数学ミニ辞典」では、応用的な課題や身のまわりの事象に数学を活用する課題が設けられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>	
	資料	<p>○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手立てになるように用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、行と列が色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○各単元の本文の始めに「目標」があり、新しく学習する方向性が示されている。まとめや性質、解法の手順が緑色の枠の中の太字で示されている。</p> <p>○新しい用語や記号は黄色の枠の中にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>	
総括		<p>○章の始めには、これから学習する内容に関連する既習事項「学習する前に」が、章末には、学習内容を振り返る「学習のまとめ」が設けられている。学習した内容の定着を図るため、節末「基本のたしかめ」、章末「章の問題」など繰り返し練習するように設定されている。章末「数学の広場」や「ジャンプ」では、数学を深めることができ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">未来へひろがる数学</h1> <p style="text-align: right;">61 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得するために、系統性を考え、既習事項を基に新しい学習内容へ発展させていけるように構成されている。また、基礎・基本を身に付けるための「基本問題」などが設定されている。</p> <p>○観察、操作や実験などの活動を通して、数学的な見方や考え方の習得を図るとともに、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>
<p>特色</p>	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○本文中の「ふりかえり」マークで学習内容に関連する既習事項が取り上げられ、復習や学び直しをするように構成されている。巻末の「力をつけよう」「まとめの問題」では、自主的に学習できる問題や、さらに力を伸ばす問題が取り上げられている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○数学的な思考力・表現力を高めるために、「千思万考」が設けられている。また、「自分のことばで伝えよう」では、双方の考え方を伝え合う活動が設定されている。「自分の考えをまとめよう」や巻頭「ノートのかふう」では、筋道を立てて発表するなど数学的な表現力を高めるように構成されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○興味・関心をもって主体的に数学を見出し、発展させていけるように、数学的活動を取り入れた「学習のとびら」が設定されている。「数学の展望台」では、生徒の興味・関心・意欲を高める話題を掲載している。別冊「MathNaviブック」は、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> <p>＜数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫＞</p> <p>○章末「身のまわりへひろげよう」や別冊「MathNaviブック」では、数学を日常生活へ活用して考えたり判断したりできる課題が設定されている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>
	<p>資料</p> <p>○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手だてになるように用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、項目ごとに色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○各単元の本文の始めに「ひろげよう」があり、新しく学習する方向性が示されている。例題の解答例はノート形式でまとめられている。</p> <p>○新しい用語や記号は緑色の枠の中にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総括</p>	<p>○巻頭「学習の進め方」では、学習する手立てやノートの書き方が示されている。また、基礎・基本の定着を図るための「基本のたしかめ」や「繰り返し練習」などが設けられている。別冊「MathNaviブック」は、既習内容の振り返りや数学の有用性を感じさせ、「自由研究に取り組もう」では数学の楽しさを実感させ、学習の幅をさらに広げ、深められるように構成されている。</p>

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">中学校数学</h1> <p style="text-align: right;">104 数研</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための問題が設定され、その問題に関連する既習事項が示されている。また、振り返りや反復学習の場面を設けることにより、基礎・基本の定着が図られるように構成されている。</p> <p>○各章の導入では、興味・関心を促すための課題が取り上げられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○巻頭「クイックチャージ」「ドリルでチャージ」では、既習内容の確認ができ、わからない箇所があれば、「ふりかえり」のページにさかのぼり既習事項の確認ができるように構成されている。また章末「基本問題」では、学習した内容がまとめられ、反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○数学的活動に関連する「見つけよう」「伝え合おう」「活用しよう」の「問」や「項目」には、マークが付けられている。巻末「知識を活用しよう」では、その学年の内容を総合的に活用して取り組む活動が設けられており、数学的な思考力・表現力を高められるように構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「章のとびら」では、興味・関心を促すための身近な題材が扱われている。「説明文」や「問」でも、数学的活動を通して学習に取り組めるように構成されている。「数学探検」では、既習事項を活用して考えたり、身のまわりの事象から数学を見い出したりできるような題材が取り上げられている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○巻末「数学探検」や章末「やってみよう」では、数学の歴史や身のまわりで数学を活用して考えたり、判断したりできる題材が取り上げられている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○日常生活と関連する場面や学習内容の具体的な状況を想起させる際には、写真が用いられている。巻末付録には、切り取って立体が作成でき、操作できるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、行と列が色分けされており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○各単元のタイトルの下に「ここで学ぶこと」があり、その項目で学ぶことや目標が示されている。また「Q」で新しく学習するきっかけになる問題が示されている。まとめは桃色の枠で囲まれている。</p> <p>○新しい用語や記号はゴシック太字で示され必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「章とびら」や章末「発展」では、数学的な思考力が深められるように設けられている。巻頭「クイックチャージ」では、基礎・基本が身に付くよう構成されている。また、巻末「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」では、1年間のまとめの問題が設定されている。また、日常と関連付けるために「数学探検」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">中学数学</h1> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習のねらいや内容の展開を整理することにより、主体的な学習活動が展開されるように構成されている。また、基礎的・基本的な内容を習得するための題材が用意されている。</p> <p>○観察や操作、実験などの操作活動を通して、数学的な見方や考え方の習得を図るとともに、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○学習する内容が項目ごと2ページにまとめられている。各章の始めの「次の章を学ぶ前に」や本文「ふりかえり」では、既習事項を確認するように構成されている。章末「繰り返し練習」や巻末「力をのばそう」では、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる反復練習として利用するように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○小節末に設けられている「やってみよう」では、学んだことを活用して考えたり調べたりする課題が示されている。「話し合おう」では、みんなで話し合っ解決する課題が設けられている。各小節「見つけよう」「生活への利用」「説明しよう」では、数学的な思考力・表現力を高める題材を取り入れている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭「数学の学習で大切なこと」では、数学的活動や言語活動に取り組むための内容が扱われている。「章の扉」では、学びの必然性・ストーリー性を重視した課題や身近な話によって、学習意欲を高められるように構成されている。「次の章を学ぶ前に」と「くり返し練習」には、家庭学習マークがあり、予習・復習への主体的取り組みを促すように構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○各章「生活への利用」や「数学のたんけん」では、日常生活や社会の中で数学を利用している内容が扱われている。環境教育、福祉教育、防災教育に関しては、数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</p> <p>資 料</p> <p>○問題解決のための具体的な操作・手順などを示す際に、挿絵や写真が用いられている。巻末付録では、切り取って立体の作成など操作活動ができるような資料が用意されている。</p> <p>○統計資料などは、項目が色分けされて配置されており、複数の場合には、相互に比較できるよう1ページ内に配置されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○各単元の始めに「Q」などの学習のねらいや導入問題が示されている。まとめは黄色枠の中に太字で示されている。解答例はノート形式でまとめられている。</p> <p>○新しい用語や記号は、緑色の枠のゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○章の始めの「次の章を学ぶ前に」では、既習事項を振り返ることができるように構成されている。基礎・基本の定着を図るため、章末には「くり返し練習」や「たしかめ」が設けられている。また、日常生活と関連付けた「生活の利用」や数学を深めるための「数学研究室」などが設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>